4/1赤旗

きょう消費税導入34年

インボイス 保守も反対

山形・庄内地方4議会で中止・延期意見書

地域経済壊される危機感

消費税が導入されて4月1日で34年です。山形県では庄内地方5市町のうち4市町の議会で、消費税のインボイス(適格請求書)制度の実施延期・中止を求める意見書が可決され、各団体から「運動すれば政治は変わる」と確信が広がっています。党派の共同を力に、消費税減税・インボイス中止を統一地方選の争点にしようとの決意の声があがっています。(大串昌義)

庄内全市町にいる合計9人の日本共産党議員は、インボイス反対の先頭に立って、住民運動と結んで論戦に全力を尽くしています。

「共産党の議員がいるから請願を出すことができます。今回は保守系議員にも呼びかけようと初めて同じ町内の議員に、ダメでもともとで行ってみると『インボイス、俺も反対だ』と言ってくれました」

酒田民主商工会の伊勢守副会長(70)=資源回収=はこう振り返ります。

酒田民商が2022年9月の酒田市議会に提出した、「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める」請願は初の採択となりました。

請願は庄内農業農民運動連合会との共同提出です。庄内農民連は、酒田市でもコロナの持続化給付金と家賃支援給付金の申請支援で会員を拡大。インボイス反対などの運動を広げようと、酒田民商は庄内農民連から請願の書き方や議員への働きかけ方を教わりながら、共同して運動を進めました。

酒田民商の遊部実会長(73)=木型=、伊勢副会長は9月議会に向けて各会派を回り、日本共産党など野党3氏に紹介議員になってもらい請願を提出。総務常任委員会で「消費税は市民が公平に負担しており、インボイス制度により〝益税〟が解消できる」との反対意見、「コロナ禍、物価高騰で疲弊している今インボイスをやるべきではない」など賛成意見が出る中、賛成5、反対2の賛成多数で採択、本会議で賛成14、反対11の賛成多数で採択しました。

遊部会長は「初の採択は今後の請願提出への大きな励みになりました」と話します。

消費税減税・インボイス中止を訴えた酒田飽海(あくみ)地区の重税反対統一行動=13日、山形県酒田市([illegible]撮影)

初の全会一致で

庄内地方で意見書採択の口火を切ったのは22年6月の鶴岡市議会です。民商、地域労連、医療生協、農民連などでつくる消費税廃止鶴岡田川地区各界連絡会の請願で、初の全会一致でした。

各界連会長で鶴岡民商の齋藤壁一会長(72)=機械製造=らは、商店振興組合、印刷協同組合、電気工事組合などを訪問。どこでも反応がよく「導入されれば大変になる」との声が出ました。

各界連が提出した請願はなんでも否決されましたが、今回は会派を回ると、「『延期』なら賛成できる」との声があがりました。

齋藤会長は「全会一致での採択は、小規模事業者やフリーランスが求めた実施中止を無視できなかったからです」と語ります。

庄内地方で意見書が採択された背景には、インボイス導入で地域経済が壊されるとの保守系を含む議員の危機感があります。

庄内町議会では、各界連と共同提出したインボイス中止を求める意見書を9月議会で採択。総務文教厚生常任委員会で商工団体代表が請願趣旨を説明し、自民党籍のある無所属町議は聞き取りをした主要団体・企業から「導入を中止してほしいとの強い要望を受けた」と訴えました。委員会は全会一致、本会議は賛成12、反対1の賛成多数で採択されました。

統一地方選勝利、消費税減税・インボイス中止へ奮闘する業者後援会の人たちと日本共産党の渡辺ゆり子県議(前列左端)=28日、山形市

声届ける共産党

県内では県議会を含む36議会中26議会に請願を提出、9議会で採択しています。

県内のさまざまな団体から、中止・延期などを求める声があがっています。

請願運動に関わった農民運動山形県連合会の梅津哲税金対策部長(47)は「農協に委託販売している農産物はインボイスがいらない『農協特例』がありますが、直売所は対象外です。直売所から野菜がなくなれば消費者も困ります。農家の運動も盛り上げ、インボイスを止めたい」と話します。

日本共産党山形市議団や山形県商工団体連合会と懇談した山形市シルバー人材センター(会員数1300人)の担当者は、インボイス実施で毎年4200万円の税負担が発生すると指摘します。「会員が少ないセンターは存続が危ぶまれています。『生涯現役社会』と言っている中で今のところ実施延期もないので困っています」

県議選で現有2議席確保をめざす日本共産党県議団は、山商連とともに県に要請。中止意見書に賛成しましたが、自公の反対で不採択となりました。

日本共産党山形地区中小業者後援会代表世話人の佐藤弘山商連会長(70)=鞄製作=は「導入されれば業者間で分断や混乱が起きます。大増税・大物税につながるインボイスを実施させないとの私たちの声を議会に届けてくれる日本共産党を統一地方選で伸ばすために奮闘したい」と意気込みます。